

■平成 23 年度第 1 回中仙地域協議会会議録

1 日 時 平成 23 年 5 月 19 日（木曜日）午後 1 時 30 分から 3 時 20 分まで

2 会 場 中仙農村環境改善センター 農事研修室（2 階）

3 出席委員等

（1）委 員（敬称略）

①出席＝秋山康、小原杏平、木元洋子、草薙幸隆、児玉誠良、佐藤育男、高橋一、高貝昇太郎、傳農富士夫、長谷山祥子、平瀬一浩、藤田貞子…以上 12 人

②欠席＝井上美雪、金子美喜男、草薙昌美、高橋修、高橋辰美、寺田文夫以上
…以上 6 人

（2）市職員

久米正雄副市長、小松辰巳企画部長、皆川貢中仙支所長、田口祥吾市民サービス課長、阿部利美中仙公民館長、荒川義弘八乙女荘事務長、小松孝勝市民サービス課参事、高橋昭則農林建設課参事、石山玲子健康増進センター参事、藤原香代子包括支援センター東部参事、小松英昭総合政策課長、高橋正人総合政策課副主幹、高山知洋総合政策課主査、後藤明彦市民サービス課主席主査（事務局）

…以上 14 人

4 地域協議会内容

【開会】

会長が開会を宣言

【会議の成立】

事務局から出席委員が 12 人で 2 分の 1 以上の出席があることから地域協議会が成立する旨を報告した。

また、地域協議会委員構成員である中仙亀の子クラブの会長が伊藤慶子さんから井上美雪さんに交代したが、本日は仕事の都合で欠席である旨を報告した。

【会長あいさつ】

皆様にはお忙しいところご参集いただき、ありがとうございます。

この 3 月には、未曾有の東日本大震災が発生しまして、被災者にお見舞い申し上げるとともに、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするものであります。

また、この災害において、市民の方々からの物的支援、市役所によるボランティア活動等に敬意を表します。

今冬は平成 18 年以來の豪雪に見舞われましたが、太平洋側の津波被害に比べると微々たるもので、改めて津波被害の甚大さを感じたしだいです。一日も早い復興をお祈りしたいと思います。

なお、今回、市役所では大幅な機構改革を実施し、人事異動により職員も入れ替わったようであります。このあとご紹介があるかと思いますが、従前同様、よろしくお願いたしたいと思います。今日も市の幹部職員が大勢お見えになっており、せっかくの機会でございますので、できる限り意見交換をしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げ、終わります。ありがとうございました。

【職員紹介】

皆川支所長が、久米副市長以下、本日出席した市の職員を紹介した。

【副市長あいさつ】

中仙地域協議会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日は年度初めのご多忙の中にもかかわらず、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。

ご承知のとおり、去る 3 月 11 日に発生しました東日本大震災は、宮城県を中心とした東北地方太平洋側の広い範囲にかけて甚大な被害をもたらし、多くの犠牲者を出しております。

本市では、これまで 15 回にわたる救援物資の運搬や、「避難者サポートセンター」による避難者の受け入れ、県を通じた被災地への職員派遣による避難所の運営支援を行っております。

また、4 月 18 日から遠野市において支援活動の拠点施設として「だいせん応援ハウス」を開設し、大仙市民ボランティアと行政が一体となり、ボランティア活動に取り組んでおり、第 11 次隊が本日、出発したところです。

今後も大仙市としてできる支援を継続的に行ってまいりますので、委員の皆様からのご理解とご協力をお願いいたします。

さて、本市では、合併後もきめ細かな自治が行えるよう、合併旧市町村の 8 つの地域に「地域自治区」を設け、それぞれの自治区に地域協議会を設置し、6 年が経過いたしました。

これまでの 6 年間、地域協議会におかれましては、それぞれ地域の課題を地域住民自らの力で解決する仕組みづくりを進めていただくとともに、地域振興計画の作成や、地域公共交通計画への提言など、委員の皆様には活発な活動を展開していただいております。こうした取り組みの結果、地域協議会は、市民との協働のまちづくりの「核」とし

て、合併して誕生した大仙市の基礎づくりにも、大きく寄与していただきました。

「市政は市民のために」という市長の基本理念のもと、市役所も市民と共に汗を流しながらまちづくりに取り組み、地方分権時代にふさわしいまちづくりを目指して、引き続き努力してまいりたいと考えておりますので、今後とも、貴重なご意見・ご提案をいただきますようお願いいたします。

さて、本年度の中仙地域の事業についてでございますが、8月31日に郡市総合防災訓練が中仙地域を会場に開催されます。訓練の内容についてはこれから詰めてまいりますが、地域住民の皆様と一緒に訓練でございますので、ご協力方よろしくお願いいたします。

また10月19日に第3回大仙市交通安全推進集會も中仙地域を会場に行われる予定でございます。パレードによる交通安全の啓発やドンパルでの講演会を行いますので、こちらもよろしくお願いいたします。

農業関係でございますが、中仙南部地区農地集積加速化基盤整備事業の481ヘクタールの基盤整備が今年度で完成の予定でございます。

中仙中央地区ほ場整備事業は事前事業調査を今年度で終了し、24年度採択に向け事業推進の運びとなっております。

建設関係でございますが、長い間皆様にご不便をおかけしております館ノ内北川橋ですが、今年度橋梁上部工事と取り付け道路の舗装工事を行い11月末には完成する予定です。

教育施設関係になりますが、かねてから各種大会の折に駐車場の関係で路上駐車が問題となっておりますサンビレッジ中仙の駐車場ですが、緑地広場の一部に駐車場を増設し、普通車で約50台分のスペースを確保することとしております。

今後も、山積するさまざまな課題について、地域協議会の皆様と議論を重ねながら、市民の皆様が生き活きと活躍でき、地域に愛着や誇りが持てる、安心して暮らせるまちづくりを進めていきたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、これまで以上のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、本協議会が実りあるものになることをご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

【企画部長説明】

厚生連仙北総合組合病院を中心とした、大曲通町第1種市街地再開発事業の現時点での状況（整備内容等）を外観パース図や平面図（配置図）に基づき説明した。

主な説明内容は次のとおり（以下箇条書き）。

- ・市の直営ではなく、地権者による組合施行である。
- ・現在は準備組合であるが、昨年12月に秋田県に対して本組合の申請を行っており、6月中には認められる予定で、14日頃の設立総会を経て、本事業に着手する。
- ・本組合設立後、実施設計、地権者への権利返還計画を作成、同意後、さらに県知事に

申請し認可をいただき、工事に着手できる。24年1月にジョイフルシティの解体工事が始まり、事業が本格化する予定である。

※以下、平面図を基に説明した主な内容

- ・北街区の概要として、病院棟は、地下1階、地上7階で計画している。右隣に3階建ての高齢者福祉施設（ショートステイ）を、その南側の商業施設棟に薬局やバスの待合室を考えている。
- ・南街区については、事務所棟1に商工会議所の事務所、事務所棟2には、1階と2階に健康増進センターを移設、3階に社会福祉協議会を移設し、健康福祉棟として整備する予定である。その南側に、幼保一体型の認定こども園（定員180人程度）の整備を予定している。
駐車場棟は立体で、病院利用者ではなく、南街区の公共施設利用者の利用を考えている（約218台）。
- ・北街区の2階について、高齢者福祉施設棟は病院棟の補完施設（退院後のケア等）であるほか、病院棟が限られたスペースであることから、食堂を配置しない計画なので、商業施設棟に外部の方を含めて利用できる食堂の設置を考えていることから、病院棟、高齢者福祉施設棟、商業施設棟を渡り廊下で結ぶ計画である。
- ・病院の駐車場は、雨天や降雪等の悪天候時を考え、病院棟の北側にあるねむのき駐車場を病院の2階と連絡通路で結び、直接病院に入れるような整備を考えている。
同駐車場は現在、307台の収容能力を持っているが、区画が狭くて駐車しにくいとの声があることから、区画を広げて改修し、250台程度とする考えである。
また、立体が苦手な方に関しては、現在の第3駐車場が新病院に一番近くなることから、同様に広い区画に改修し136台を110台程度駐車できるようにする計画である。
この2つの駐車場で約360台の駐車が可能で、現在の駐車能力の20%増となり、利便性が向上するものと考えている。

※以下、外観パースを基に説明した内容

上記平面図で説明した各施設の配置を説明した（以下箇条書き）。

- ・病院棟の屋上に、ヘリポートを設置する。
- ・商工会議所棟の前にイベント広場を設置する予定である。

（総括事項）

- ・6月に認可されると、組合として本事業に本格的にかかっていくことになるが、市としても最大限支援し、26年2月までに病院棟、さらに翌年には高齢者福祉施設棟を完成させ、27年度中には本事業をすべて完了させたいと考えている。

以上

会 長 今の説明に関して、質疑できますか、それとも後ほどにしますか。

企画部長 後ほど、意見交換の際に承りたいと思います。

会 長 中仙支所の職員数を確認したいので、教えてください。

支 所 長 市民サービス課が 21 人、農林建設課は 18 人です。

会 長 公民館の職員数も教えてください。

支 所 長 7 人です。

以下、会長の進行のもと、議題に入る。

【議題】

(1) 会議録署名委員の指名

会長が秋山康及び藤田貞子の両委員を指名、異議なく了承された。

(2) 平成 23 年度中仙地域の主要事業について

①市民サービス課関係（説明者：田口市民サービス課長）

主な説明内容は次のとおり（以下箇条書き）。

- ・交通安全対策推進事業として、本地域を会場に第 3 回大仙市交通推進集会を 10 月 19 日に実施する予定である。
- ・高齢者福祉事業では、例年通り 9 月中旬に敬老会を開催する。
- ・ごみ収集事業では、粗大ごみに関して昨年度から春と秋の月 2 回の収集となり、有料の戸別回収となっている。
- ・消防・防災関係では、中学生防火弁論大会が 11 月 1 日に本地域で開催されるほか、郡市（大仙市、仙北市、美郷町）総合防災訓練が 8 月 31 日、本地域を会場に実施される予定であるので、ご協力願いたい。
- ・市税納付の口座振替新規手続者へ、市内の温泉入浴券を 2 枚交付している。まだの方は、この機会にぜひ口座振替の手続きをお願いしたい。

②農林建設課関係（説明者：高橋農林建設課参事）

主な説明内容は次のとおり（以下箇条書き）。

- ・今年度の生産数量の配分率は、前年度比 3 ポイント増の 38.6%である。
- ・フロンティア農業研修として、神岡地域の県畜産試験場にて本地域の農業者 1 人が

研修中である。

- ・農業用廃プラスチック処理については、回収場所や日時、料金を地域カレンダーでお知らせするので、よろしくお願ひしたい。
- ・県営土地改良事業については現在、中仙南部、鶯野、国見の3地区で実施中であるほか、24年度の事業採択に向けて、中仙中央地区の事業調査を行っている。
- ・農地、水、環境保全向上対策事業は、今年度で終了する。
- ・畜産に関して、行政や農協などからなる総合畜産振興会が組織されているが、これは本地域のみである。
- ・第24回ジャンボうさぎフェスティバルは、10月15と16の両日に開催する。
- ・林業に関しては、八乙女山や長野山で保育事業等を実施しているが、すべて県営事業である。
- ・中仙8号線のオーバーレイ工事と中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事は、発注済みである。
- ・豊川観音堂地区で、下水道管敷設工事を行う予定である。

③中仙公民館関係（説明者：阿部館長）

主な説明内容は次のとおり（以下箇条書き）。

- ・芸術文化鑑賞の機会の提供の観点から、中仙市民会館（以下ドンパルと表記）自主事業として、自衛隊音楽隊コンサート（震災により日時未定）、7月16日に海援隊コンサートを行う。17日からチケットの前売りを行い、9割方売れた。このほか、松竹特別講演や映画鑑賞会、北村栄治氏によるジャズコンサートも行う予定である。
- ・絵画や書道、短歌等日ごろの創作活動の成果を発表する「生涯学習展」を11月3日から4日間開催するほか、5日には出前民謡を開催する予定である。
- ・ドンパル地下タンクの更新、豊川多目的研修センター屋根塗装、サンビレッジ中仙駐車場整備の各工事を行う。
- ・学校関係では、清水小学校体育館屋根改修工事、豊成中学校校舎棟外壁塗装工事を行う。

④八乙女荘関係（説明者：荒川事務長）

主な説明内容は次のとおり（以下箇条書き）。

- ・停電時の入所者避難用として非常灯バッテリーを交換するほか、発電機や入浴キャリー等の備品を購入する。
- ・22年度八乙女荘の延べ利用者数は、入所が31,551人で利用率は96.04%、平均介護度は3.09、通所については、1,536人で利用率が71.4%、平均介護度は2.38であった。
- ・今年度末の入所者89人中、大仙市民は62人で、うち中仙地域の方は34人である。
- ・4月15日現在の入所者は90人と満所で、待機者が3人いるほか、相談も相当数受

けている状況である。職員 57 人一丸となって対応している。

会 長 説明が終わりましたが、質疑ありませんか。(特に反応なし)では特にな
いということで、次に進んでかまいませんか(はいとの声)。では、次に(3)
の地域枠予算事業について、議題とします。説明をお願いします。

(3) 地域枠予算事業について(説明者:田口市民サービス課長)

資料2に基づき説明した。主な内容は次のとおり。

【実施類型Ⅰ型】市が主体となる事業について

①「道の駅なかせん」リニューアルオープンセレモニー事業

先の1月の地域協議会で3月末にセレモニーを行うことでご了解をいただい
ておりましたが、震災の影響で4月30日に延期、規模を縮小して実施しました。道
の駅のリニューアルを広く地域内外にPRして利用者の増加につなげ、地場産業や
観光の振興を図るため実施したもので、会場設営等に69,300円支出しました。

②八乙女公園桜祭り電飾事業

桜祭りに合わせて夜間に桜をライトアップして盛り上げるとともに、夜間におけ
る防犯や遊歩道通行の安全を図るため、観覧ルートへの電飾を行いました。事業費
のうち電飾用具借り上げ等を観光協会が持ち、市は昨年度と同様、配線分316,470
円を支出しました。

なお、①及び②について、4月中に協議会を開く「いとま」がなく事業を実施し
てしまい、申し訳なく思います。

会 長 この2つの事業は、支所長から事前に実施の打診があり、地域を元気づけ
ようと私が了承した経緯があるので、承認願いたいと思います。(はいとの
声)それでは、2事業は承認することに決定します。

次の説明をお願いします。

【実施類型Ⅱ型】市民と行政による協働事業について

③旧老人憩いの家跡地整備事業(事業主体:清水支部老人クラブ)

清水地域の健康増進拠点となっている旧老人憩いの家跡地(清水地区健康広場)
について昨年度に盛土を行いました。雪解け後に随所に水溜りが発生したため、
市が砂代11,000円を支出し、老人クラブが自分たちで整地したものです。本事業
についても、実施済みです。

会 長 説明が終わりましたが、ご質問やご意見はございませんか。(なしとの声)
ご異議ないようですので、本件は承認することに決定します。
次の説明をお願いします。

④中仙支所等美化事業（事業主体：長野中学校 16 期会）

支所西側や八乙女荘、桜寿苑の敷地等へマリーゴールド等を植栽、環境美化を通じて協働のまちづくりの意識付けを図るもので、市が花苗代や肥料代等を支出、長野中 16 期会が植栽と管理を行うものです。市の支出は 122,000 円です。

会 長 中仙支所等美化事業について、長野中 16 期会がやっているようですが、ご異議はありませんか。(異議なしとの声) ご異議ないようですので、本件は承認することに決定します。
次の説明をお願いします。

⑤長野地区子供会・育成会親子花壇づくり事業（事業主体：長野地区子供会育成会連合会）

市と長野地区子供会育成会連合会が協働し下川原・開から袴田までの長野地区内に設置している花壇やプランターに花を植栽するもので優秀な花壇は、長野分館祭りで表彰されます。市の支出は、花苗代 54,000 円です。

会 長 長野地区子供会・育成会親子花壇づくり事業について、ご異議ございませんか。(異議なしとの声) 異議がないようですので、本件は承認することに決定します。
次の説明をお願いします。

⑥中仙地域児童書道作品裏打ち表装ボランティア事業（事業主体：中仙表装倶楽部）

地域内 4 小学校の 6 年生 82 人を対象に倶楽部員等が学校に出向き、児童が作成した書道作品の裏打ち表装を指導するもので、卒業記念とするほか、芸術への関心を高める機会とするものです。市の支出は、材料代とミニアイロン借り上げ代の 167,000 円です。

会 長 中仙地域児童書道作品裏打ち表装ボランティア事業は、ご異議ございませんか。(異議なしとの声) 異議がないようですので、本件は承認することに決定します。
次の説明をお願いします。

⑦コミュニティづくりレクリエーション事業（中仙地域コミュニティ・レクリエーシ

ョン連絡会)

地域の一体感の醸成や住民間の交流や健康増進等を図り、活力ある地域を目指して、地域内6地区の運動会等のレクリエーション行事を実施するもので、市の支出は、参加賞の商品代の一部として1地区40,000円、合計240,000円です。

会 長 コミュニティづくりレクリエーション事業について、ご異議はございませんか。(異議なしとの声) 異議がないようですので、本件は承認することに決定します。

次の説明をお願いします。

⑧呑川環境整備事業(呑川管理組合)

栄町から新町まで157戸の防火・流雪等の生活用水である呑川の維持管理のため、川の堰払いや流域の草刈りを行うものです。場所は、水門があるところから秀よし前までです。昨年、農地・水・環境保全事業でできないかと質問がありましたが、農地がないので対象外地域のため、地域枠予算で昨年度から対応しています。市の支出は、重機等の借り上げ代90,800円です。

会 長 呑川環境整備事業は、ご異議ありませんか。(異議なしとの声) ご異議ないようですので、本件は承認することに決定します。

それでは、議題3の地域枠予算に関しては、すべて原案通り承認されました。ありがとうございました。

会 長 その他に、何かご質問やご意見等ございませんか。

平瀬委員 22年度地域枠予算事業一覧の24番に「道の駅リニューアルオープンセレモニー事業」の記載がありますが、23年度でも同じことをやったのですか。

会 長 事務局、説明してください。

田口課長 1月の協議会において事業費29万円で承認されましたが、震災で延期になったので、横一文字作成費等の既にかかった経費分51,975円に減額した経緯があります。今年度の経費は、テープカット用のテープやリボン等延期されたセレモニーの準備経費として69,300円であり、総額121,275円と半分以下の経費となりました。

会 長 結果的にその分が残ったということでよいのですか。

田口課長 22年度の不用額は2万円程度でした。それがこの事業が51,975円となったので、269,730円が残ったものです。

平瀬委員 わかりました。ありがとうございます。

会 長 それでは、今日は久米副市長や市の幹部が見えられているので、皆さんからご意見を頂戴したいと思います。

最初に、病院関係の説明がありました。これは組合の考えですか。
また、事業費は決まっているのですか。

企画部長 組合施行です。

事業費は、基本設計段階の概算ですが、152億4千万円と試算しています。そのうち、国・県・市の補助金が77億8千万円、残りの殆どがいわゆる「保留床処分金」といって、例えば病院が新たに病院を取得する際、一部現在の建物があるので権利（床）があり、それを除いた部分を厚生連が取得しなければならず、それを保留床処分という形で組合が処分します。その処分金を事業費に充当する形で事業費が成り立っています。

会 長 わかりました。ありがとうございます。他にご意見はございませんか。

佐藤委員 一大事業なので、できるだけ地元の業者を使うようにしていただきたい。

企画部長 その点については、組合からも市長からもできるだけ、できる部分については地元業者にやっていただくようにとの指示がでています。

会 長 他にございませんか。

平瀬委員 敷地の関係でコンパクトな病院にという話があったが、私たちにとって中核病院は組合病院しかないので、なぜコンパクトな場所に建てるのか、その経緯を教えてください。

企画部長 病院の規模については、組合施行で、秋田県厚生連も組合員なので、現在の自分の病院の資産価値はあるが一部しかないもので、残りは組合から買わなければいけない形になります。ですので、そういう前提の事業費に見合う形で、厚生連としてはこの程度の規模ということからできたのが現在の基本設計であり、設計は病院がやっているの、厚生連の負担も巨額になることか

ら、この程度の規模とした経緯があります。

病院であるので現在（入院）患者がいることから同じ場所に建てるのは難しく、どこか（別の場所）に建てて患者を移動しなければならず、今までは敷地がないことから郊外への移転の話がありましたが今回、たまたま向かいのジョイフルシティが空き、他に活用方法がないことから、市街地再開発事業で作り直そうという構想からでたものです。無理にコンパクトにしたわけではなく、厚生連として将来の運営も考えたものであります。

実はこれまで、厚生連は郊外型への移転方針であり、平鹿や由利本荘、雄勝中央などがそうではありますが、（移動手段のない）高齢者には不便で、車社会とはいえ、利用率が伸び悩んでいます。今回、厚生連は交通の便が良い街中にしようと方針転換し、県もその方向であり、（土地の広さが限られる）街中となると、一定の規模、一定の大きさとなることをご理解ください。

平瀬委員 よくわかりました。ありがとうございました。

佐藤委員 （病院への）アクセス道路はどうなるのですか。

企画部長 現在、市の区画整理事業で駅前のアンダー工事を行っており、その道路が駅東線、コメリから駅までのまっすぐの道路の真ん中の十字路付近にぶつかります。コメリ方向からマックスバリュのところを右に行くと市内へ、まっすぐ行けば駅、その反対側へぶつかります。それが完成すると駅東線を通して、バイパスからまっすぐグランmart前を通して病院へ行けるという内環状線のイメージの道路が整備されます。

平瀬委員 あの大花町の道路はなぜ通行止めをしているのですか。完成しているのではないですか。

企画部長 まだ完成していません。

会 長 駅の東側から西側へは通行できるのですか。

企画部長 連絡通路があるので、人の通行はできます。駅東に駐車して、歩いて西口へ行けます。

会 長 病院の立体駐車場が苦手な方のために（区画）スペースを広くしてもらいたいです。

企画部長 病院に一番近い、ねむの木駐車場の区画線を広くする計画です。それでも苦手な方の場合は、現在の第3駐車場が一番病院に近くなりますが、そちらも区画線が狭いので広げて110台程度駐車できます。それと、ねむの木駐車場と合わせて病院の駐車場として現在の20%増の車が駐車できます。

会 長 他にございませんか。

佐藤委員 学校の統合問題はその後どうなっているのですか。

支 所 長 一昨年12月に豊川及び豊川小学校のPTAの際に、豊川に豊岡を統合するという話をしました。

その後、国の政策が学級数はできるだけ少ない方がいい、子どもの数も少ない方がいいということになり、話が中断していますが、白紙になったわけではありません。今後も、順次適正化を進める予定です。

佐藤委員 豊川小学校6年生女子は全員ミニバスケットボール部に入っていますが、豊成中学校に同部がないため、中仙中学校へ入学するという話を聞いたことがあります。豊成中学校の運営に支障を来すのではないのでしょうか。

支 所 長 その件については、教育委員会で今後検討していくと思うので、ご了承願います。

会 長 ありがとうございます。他にありませんか。

藤田委員 清水公民館の調理室が老朽化し、使用に支障を来しており、修繕するなりしていただきたいが、清水と中仙小学校が統合するという噂があり、清水小学校を公民館にするという話がありましたが、噂なのか本当なのか教えてください。

支 所 長 あくまで噂です。統合には住民の合意が必要と思います。清水公民館は昭和36年の建築と記憶しており、老朽化していますが、修繕等は教育委員会で検討しながらになると思います。

藤田委員 なるべく早く、公民館の線をお願いします。

支 所 長 総合発展計画にありますので、できるだけ早めをお願いしていきたいと思います。

佐藤委員 事業説明について、(道路の) 維持修繕事業はないのですか。

高橋参事 当然あります。

会 長 他にございませんか。

平瀬委員 昨年、児玉委員から交通安全の観点から二日町事故多発地点への信号機の設置をお願いしたいとの話があって、当時の支所長が危険個所であり公安委員会や警察にお願いしているがなかなかできなくてと言っているうちに、すぐに死亡事故が起きてしまいました。その後も2件、死亡事故が起きており、物損事故也多発しているので、速やかな対応をお願いします。

田口課長 現在も公安委員会に要請していますが、回答がありません。引き続きお願いしていきます。

会 長 他に何かありませんか。市役所の方から何かありませんか。

田口課長 海援隊コンサートに合わせ、武田鉄也さんに前日等に子供たちに対する講演会を依頼しましたが、スケジュールの都合で断られました。学校側から子供たちを対象とした講演会を開催してほしいとの要望があり、人選を進めているようです。一般市民も聴けるような講演会を検討しているので、地域枠予算で対応する予定でおりますが、協議会を開くいとまがない場合のために、そういうことがあるということをお伝えしておきたいので、よろしくお願います。

支 所 長 学校の校長会で武田さんという話が出ました。コンサートで来るのであればという発想からでした。北村栄治さんのコンサートもありそちらも打診したが、土曜日の午後であればということで、学校の日程と合いませんでした。PTA 連合会で企画した場合、地域枠予算で対応していただけるのかとの打診があったので、協議会の承認が必要なことから、予告ということで話をしました。
また先日、別件で学校から、郊外指導部の方が出ても「指導部だ」という目印がないとのことで、(腕章等) 何とかできないかとも言われています。
委員の皆さん、よろしくお願います。

会 長 他にございませんか。

田口課長 4月に行う予定でありました「豊岡芸能祭り」が震災の影響で延期になっていましたが、7月3日に決まったそうです。主催は実行委員会で市は共催の立場からドンパル使用料等で支援するので、よろしくお願いします。

会 長 地位包括支援センターと健康増進センターから職員が見えられているので、業務の紹介等をしてください。

※両参事が自己紹介のうえ、業務内容等を説明した。

会 長 他にございませんか。
今日は長時間にわたり、お疲れ様でした。以上をもちまして協議会を終了したいと思います。ありがとうございました。

署名

中仙地域協議会運営規程第7条第2項の規程により会議の次第を記載しこれに相違ないことを証明するためここに署名する。

平成 23 年 5 月 19 日

会議録署名委員
議長

委員

委員